学校番号	４１３

平成 31 年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ(数Ⅱα)	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	数学Ⅱ　Advanced　（東京書籍）						
副教材等	PRIME　数学Ⅱ＋B　（東京書籍）、LEGEND　数学Ⅱ＋B（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・課題に対して、まず自分で考えることが大切ですが、周囲の人と意見交換してともに考え、人に説明をしたりすることも大切です。
・ノートは、授業用／問題集用／参考書用の 3 冊を用意してください。テストごとに提出してもらいますが、その日の授業で進んだところまで、その日のうちに解いて答え合わせをし、理解しておくのが基本です。解答はすぐに見ず、じっくりと考えることが大切です。また、答えに至るまでの経過が大切なので途中式は必ず書くようにして下さい。その後、自分で解答を見ても理解できない問題は、必ず友人や先生に聞き解決することが大切です。

2　学習の到達目標

式と証明、図形と方程式、微分法と積分法についての基礎的な知識や技能を習得します。
また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	式と証明、図形と方程式、微分法と積分法の考え方に**関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察**に活用しようとする。	**事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して**、式と証明、図形と方程式、微分法と積分法における**数学的な見方や考え方を身に付けている。**	式と証明、図形と方程式、微分法と積分法において、**事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている**	式と証明、図形と方程式、微分法と積分法における**基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。**
評価方法	確認テスト プリント課題 ノート提出 観察等	定期テスト プリント課題 ノート提出 観察等	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト 観察等	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期 中間	式と証明	恒等式	○	○	○	○	a:式の計算の考え方を事象の考察に活用しようとしている b: 展開や因数分解の公式、および式の計算の仕方を用いて式の性質について考察することができる。 c:基本的な公式を用いて、式の計算ができる。 d:基本的な公式の活用方法を理解している。	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト 観察等
		不等式の証明	○	○	○	○		
1学期 期末	図形と方程式	点と直線	○	○	○	○	a: 平面座標と図形の性質の考え方を事象の考察に活用しようとしている。 b: 平面図形の性質を用いて図形の方程式について考察することができる。 c:図形の性質を活用し図形の方程式や座標を求めることができる。 d: 平面座標と図形の性質について理解している。	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト 観察等
		円の方程式	○	○	○	○		
		円と直線	○	○	○	○		
2学期中間	図形と方程式	2つの円	○			○	a: 平面座標と図形の性質の考え方を事象の考察に活用しようとしている。 b: 与えられた条件から軌跡と方程式および不等式の領域について考察することができる。 c:図形の性質を活用し図形の軌跡や方程式、領域を求めることができる。 d: 平面座標と図形の性質について理解している。	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト 観察等
		軌跡の方程式	○	○	○	○		
		領域	○	○	○	○		
2学期 期末	微分法	微分係数と導関数			○	○	a:微分法の性質を事象の考察に活用しようとしている。 b:微分法の性質を用いて接線や関数のグラフについて考察	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト

		接線の方程式	○	○	○	○	することができる。 c:微分係数や導関数を求めることができる。 d: 微分係数や導関数の性質を理解している。	観察等
		関数の増減と極大･極小	○	○	○	○		
3学期期末	積分法	不定積分			○	○	a:積分法の性質を事象の考察に活用しようとしている。 b:積分法の性質を用いて図形の面積について考察することができる。 c:不定積分や定積分を求めることができる。 d: 不定積分や定積分の性質を理解している。	確認テスト プリント課題 ノート提出 定期テスト 観察等
		定積分			○	○		
		定積分と面積	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単現）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。